各国の基準認証制度の概要

ーMRA情報の調査に親しむー

平成24年3月29日

未来オピニオン研究所

適合性評価分野の情報のダイナミズム

- 革新的なテクノロジーの誕生
- 技術開発
- 製品化
- 技術の統合化／標準化
- 適合性試験（機能的／社会的見地）
- 適合性証明（社会的見地）
- 規則作成（社会的見地）
- 規制（社会的見地）
- 市場監視

内容の見 直 し

韓国の基準認証制度

規制当局（国立電波研究委院 RRA: Radio Research Agency）

目的	対象機器	技術基準情報	分類	第三者機関	認証	適合保証	表示（基本）	EMC		電気安全規格	EMR	
								EMI	EMS		EMR	SAR
干渉・回線ハーム防止・安全	無線通信機器	KCC 告示 No. 2010-48	認証	RRA, DTL	○	認証	KC ロゴ KCC-CRM-ABC-XXXXXXX…XXXX	○	○	△	△	×
			暫定認証	RRA, DTL	○	認証		○	○	△	○	×
	無線端末機器	KCC 告示 No. 2010-48	認証	RRA, DTL	○	認証		○	○	△	○	○
			暫定認証	RRA, DTL	○	認証						
	有線端末機器	KCC 告示 No. 2009-38	認証	RRA, DTL	○	認証		○	○	△	×	×
			暫定認証	RRA, DTL	○	認証		○	○	△	×	×
	非意図的放射機器・ISM 機器等	RRA 告示 No.2011-24 及び No.2011-25	登録	DTL	×	自己確認	KC ロゴ KCC-CRM-ABC-XXXXXXX…XXXX	○	○	△	×	×
	業務用機器類		登録	自己診断	×	自己確認		○	○	△	×	×

DTL: Designated Testing Laboratory　KCC: Korea Communications Commission

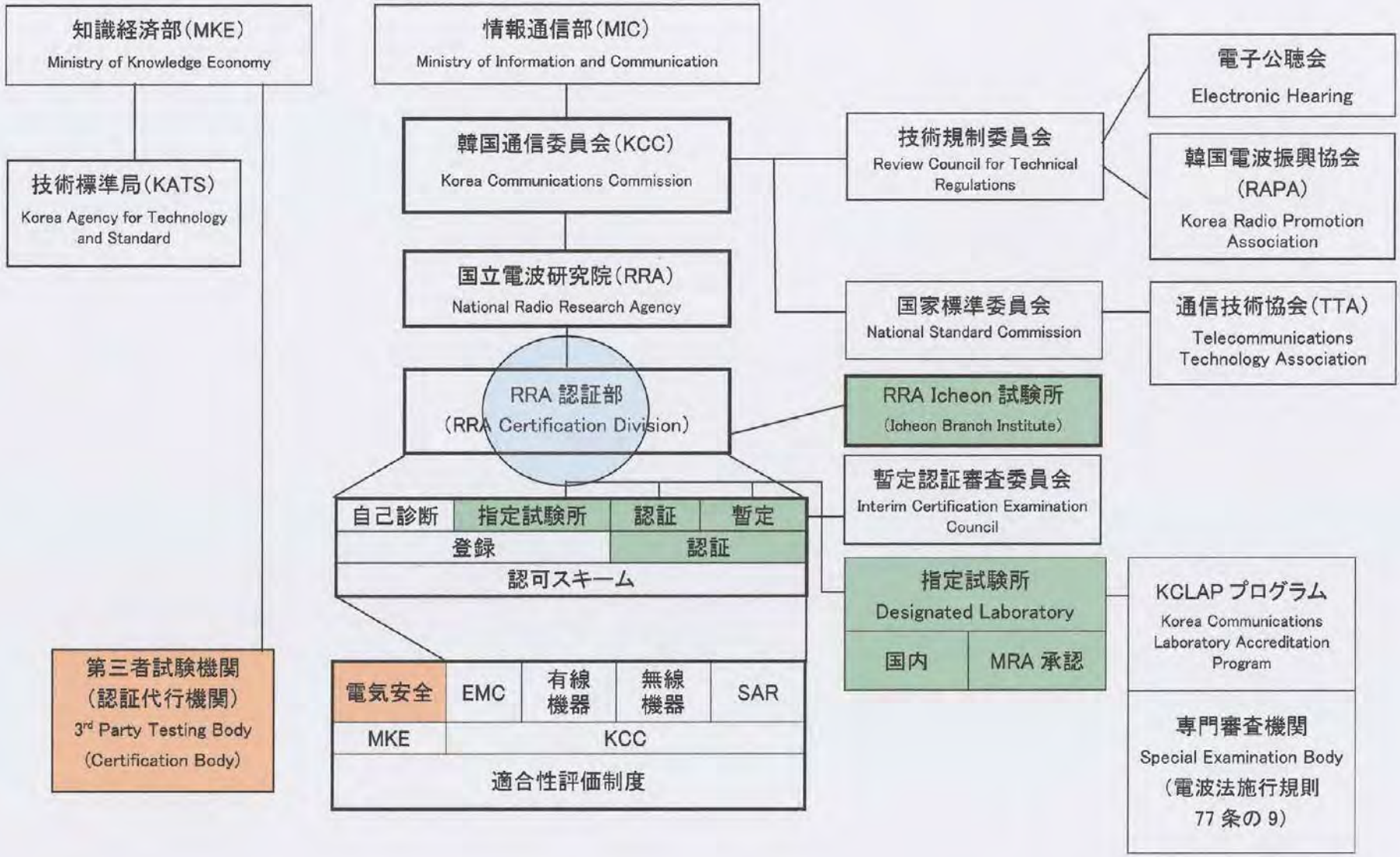
△:【電気安全規格】電気安全適合性認証は知識経済部が所轄する。RRA が EMC を所轄する。2011 年に電気安全性と EMC の所轄を完全分離した。

△:【EMR】特定小電力無線局を除く。

表示:RRA 告示 No. 2011-02 の別表5に定める。電磁表示に関する規定はない。

SAR:RRA 告示 No. 2011-02 の別表1で対象機器を定める。4 種類の携帯端末が対象になっている。

モジュール:No. 2011-02 の別表1にあればそれに従う。ない場合には暫定認証の対象になる可能性がある。



韓国の基準認証制度の実施体制

カナダの基準認証制度

規制当局(IC: Industry Canada)

目的	対象機器	技術基準情報	分類	第三者機関	認証	適合保証	表示(基本)	EMC		電気安全規格	EMR	
								EMI	EMS		EMR	SAR
干渉防止	無線通信機器(無線端末機器を含む)	カテゴリⅠ(BETS, RSS)	認証	CB (ARL)/IC	TAC	認証	IC: XXXXXX-YYYYYYY M/モデル番号	○	×	△	○	○
		カテゴリⅡ(BETS, RSS)	自己確認	△	×	自己責任	製造業社名又はブランド名＋モデル ID 番号＋Canada 310＋ST	○	×	△	○	×
回線	無線端末機器	CS-03	DoC	ATL/RTL	登録	DoC	IC: XXXXXX-YYYYYYY M/モデル番号	○	×	△	○	○
	有線端末機器							×	×	△	×	×
干渉防止	非意図的放射機器	ICES	自己確認	△	×	自己責任	製造業社名又はブランド名＋モデル ID 番号＋Canada 310＋ST	○	×	△	×	×
	ISM 機器	ICES	自己確認	△	×	自己責任		○	×	△	×	×

TAC: Technical Acceptance Certificate、CB: Certification Body、ATL: Accredited Testing Laboratory、RTL: Recognized Testing Laboratory

BETS:Broadcasting Equipment Technical Standards、RSS:Radio Standard Specification、CS:Compliance Specification、ICES: Interference-Causing Equipment Standards　ST: 所定のステートメント　Declaration of Conformity　ARL: Accredited Radio Laboratory

回線:回線のハーム防止など

△:【第三者機関】外部試験所の使用を強制していない。

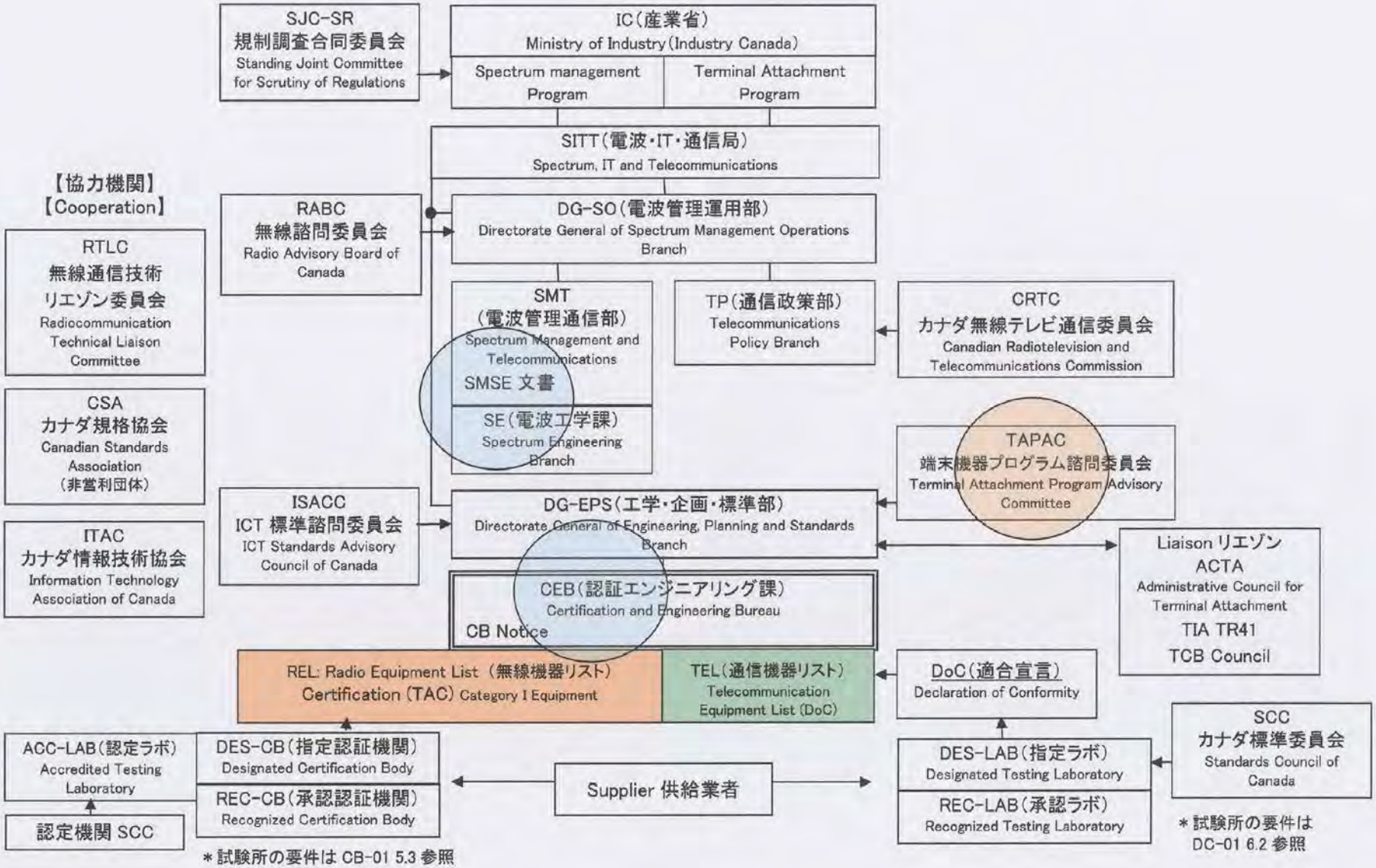
△:【電気安全規格】電気安全性規制は上記スキームの対象ではない。

表示:電子ラベリングを認めるとの明文の規定はない。実務上は米国と整合が取られているようである。

SAR:RSS-102 が定める。IEC 62209-2 を採用する。2011 年 1 月 1 日から傍在者(bystander)SAR が導入された。

モジュール:RSS-Gen, Issue 3 を参照する。米国と整合化が取られている。

その他:認証制度の見直しが計画されている。RSP-100 及び E-Filing の見直しが行われる予定である。



カナダの基準認証制度の実施体制

中国の基準認証制度

規制当局（BRA:無線管理局、BTA:電気通信管理局、AQSIQ:国家品質監督検査検疫所）

目的	対象機器	技術基準情報		第三者機関	認証	適合保証	表示	EMC		電気安全規格	EMR	
								EMI	EMS		EMR	SAR
型式認定	無線送信機	下記 SRTC 文書		SRTC	TA	SRRC	認可番号	○	×	×	△	×
	有線端末機器	下記 CTTL サイト		CTTL+14	NAL	TENAA	印刷ラベル	○	×	○	△	×
	無線端末機器	下記 CTTL サイト		CTTL+14	NAL	TENAA	印刷ラベル	○	×	○	△	△
品質保証	無線アクセス機器	YDC079-2009		CTTL	認証	ISCCC	CCC+S&E	○	×	○	△	△
	有線端末機器	CNCA-07C-031		ATL(145)	認証	CB(2)	CCC+S&E	○	×	○	△	×
	無線端末機器	CNCA-07C-031		ATL(145)	認証	CB(2)	CCC+S&E	○	○	○	△	×
	無線 LAN 機器	CNCA-11C-048		SRTC	認証	CB(2)	CCC+S&E	○	×	○	△	×
品質保証	非意図的放射機器	CCC 実施目録＆CNCA 実施規則		ATL	認証	CB(2)	CCC+S&E	○	×	○	△	×

SRTC: SRRC 試験センター　CTTL: 泰尔実験室　ATL: 認定試験所　TA: 型式認定　NAL: 網アクセス免許　TENAA: 電気通信機器認証センター

ISCCC: 情報安全認証センター　CB(2): 中国品質認証センター(CQC)と ISCCC を指す。

CNCA: 認証認定管理委員会　CCC: 中国強制性産品認証　SRRC: 無線検査センター

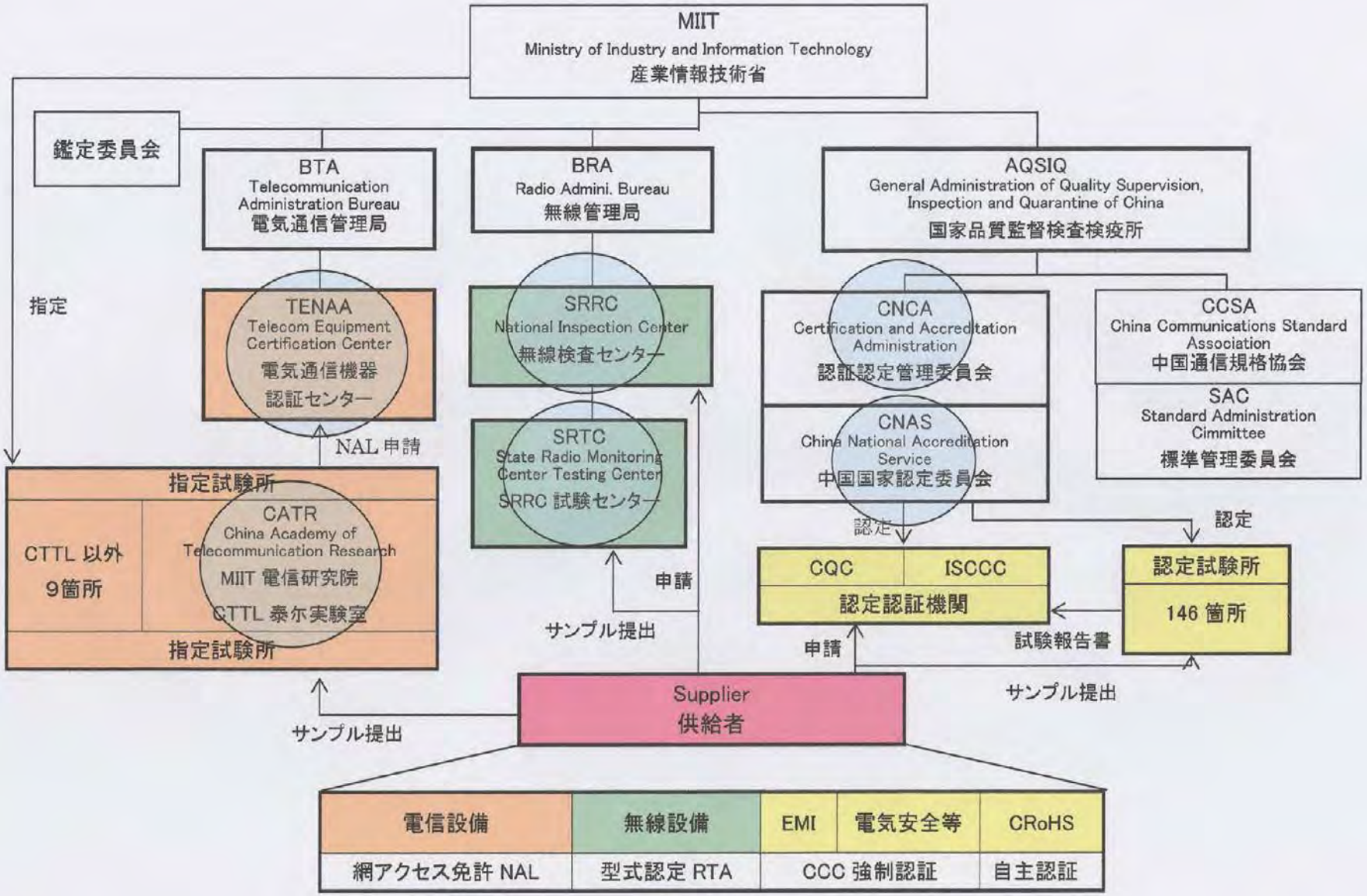
CTTL サイト：CTTL の「検測標準」タグに機器別の技術基準リストがある。

△：EMR 及び SAR に関する中国強制標準はあるが当局に測定能力がなかった。SRTC に測定機器が導入されたところ。

表示：無線通信機器には CMIIT ID、端末機器には所定の印刷ラベル、CCC 認証には CCC マーク等を用いる。

SAR：SRTC は CNAS 認定 SAR 試験所で 2009 年 6 月に正式運用を開始した。

モジュール：CNCA は 2011 年 7 月 14 日に 5 種類の携帯端末のモジュールの取扱い指針を通知した。



中国の基準認証制度の実施体制

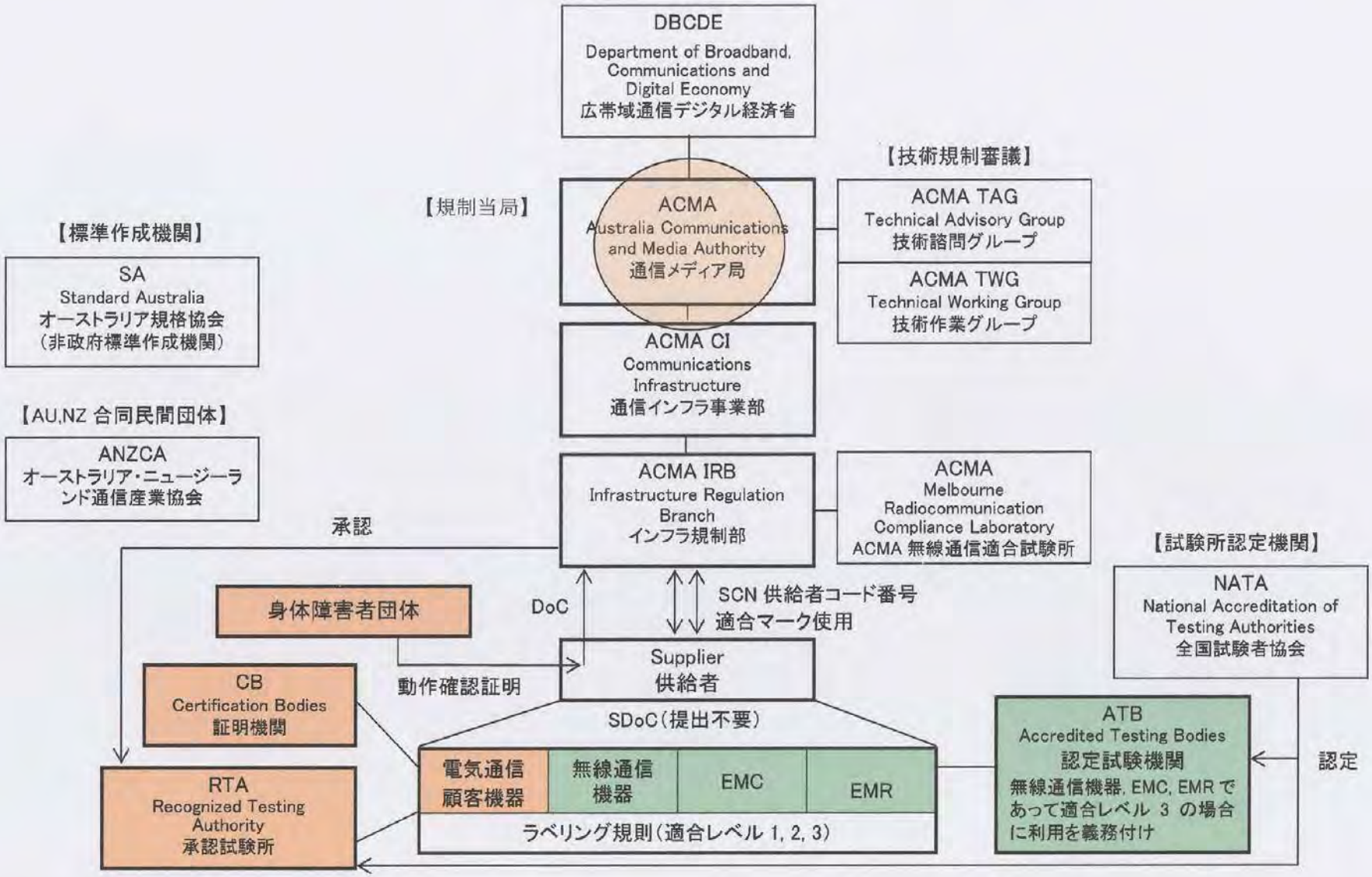
オーストラリアの基準認証制度

規制当局（ACMA: Australia Communications and Media Authority）

目的	対象機器	技術基準情報	分類	第三者機関	認証	適合保証	表示（基本）	EMC		電気安全規格	EMR	
								EMI	EMS		EMR	SAR
干渉防止	無線送信機	無線通信機器ラベリング規則	レベル1	×	×	SDoC	C-tick＋供給者 ID 電子ラベル可	○	×	×	○	ARPANSA 標準 カテゴリーB 機器 20 センチ未満
			レベル2	×	×	SDoC		○	×	×	○	
			レベル3	ATB	×	SDoC		○	×	×	○	
回線ハーム防止	有線端末機器	電気通信顧客機器ラベリング規則	レベル1	×	×	SDoC	A-tick＋供給者 ID 電子ラベル可	○	×	○	×	×
			レベル2	×	△	SDoC		○	×	○	×	×
			レベル3	RTA	△	SDoC		○	×	○	×	×
	無線端末機器	電気通信顧客機器ラベリング規則	レベル1	×	×	SDoC		○	×	○	○	ARPANSA 標準 カテゴリーB 機器 20 センチ未満
			レベル2	×	△	SDoC		○	×	○	○	
			レベル3	RTA	△	SDoC		○	×	○	○	
干渉防止	非意図的放射機器	EMC ラベリング規則	レベル1	×	×	SDoC	C-tick＋供給者 ID 電子ラベル可	○	×	×	×	×
			レベル2	×	×	SDoC		○	×	×	×	×
			レベル3	ATB	×	SDoC		○	×	×	×	×

ATB: Accredited Testing Body、RTA: Recognized Testing Authority、SDoC: Supplier's Declaration of Conformity

表示：ラベリング規則がある。現在電気安全及び EMC に適用を認めている RCM マークを他の機器にも全面的に使う方向で改正が行われている。
SAR：EMR Standard 2003 の Schedule 2 に Body SAR の測定法を定めている。今後 EN62209-2 に置き換えられる予定である。
モジュール：モジュールはホストと合体した最終製品で適合性を求められる。



オーストラリアの基準認証制度の実施体制

欧州共同体の基準認証制度

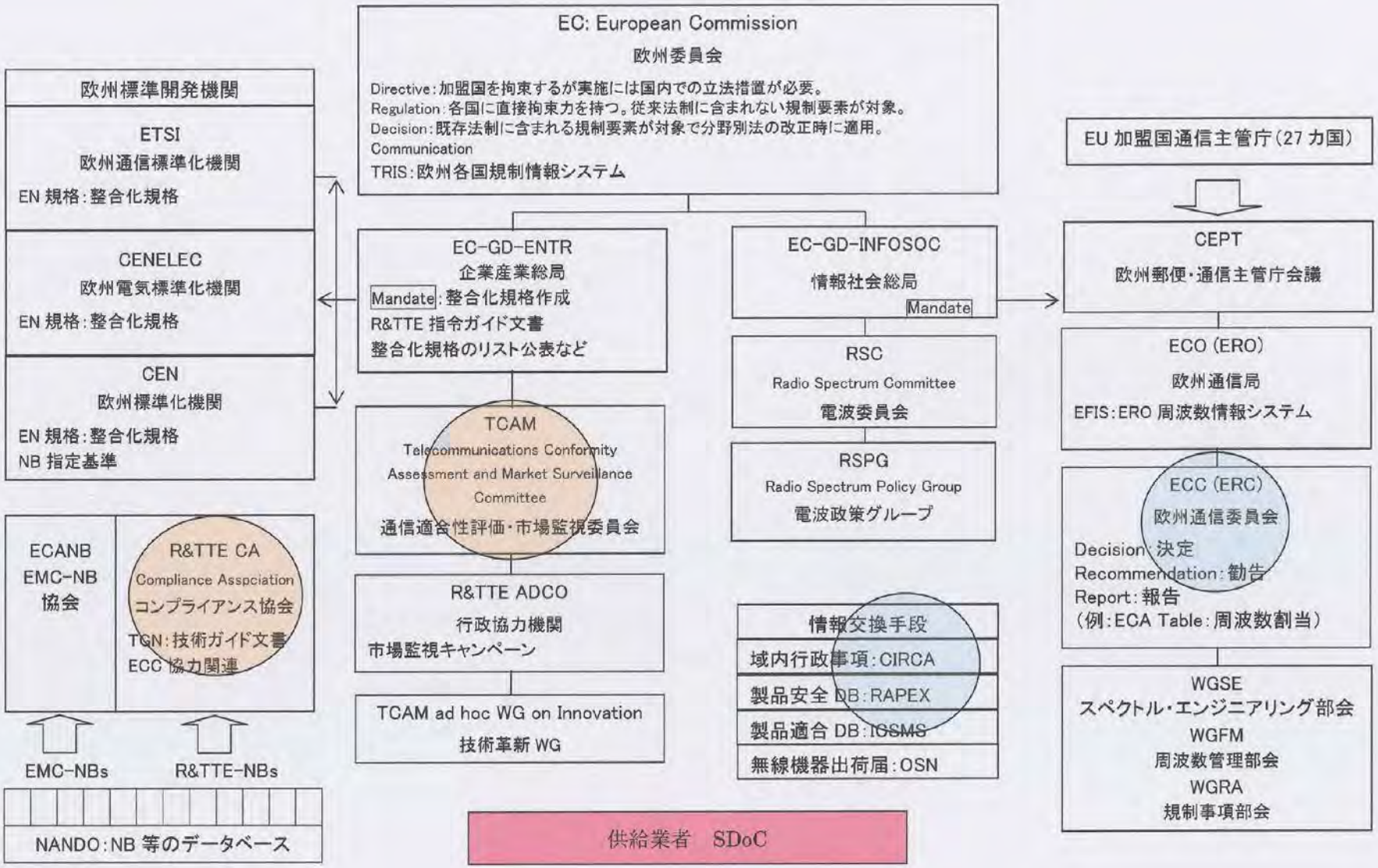
規制当局(DG ENTR: Directorate General of Enterprise and Industry)

目的	対象機器	技術基準情報	分類	第三者機関	認証	適合保証	表示(基本)	EMC		電気安全規格	EMR	
								EMI	EMS		EMR	SAR
安全・干渉防止	無線送信機	R&TTE 指令 必須基準 & 整合化規格	Annex Ⅲ	NB	×	SDoC	CE+NB 番号 (!)	○	○	○	○	ICNIRP 準拠 EN50360 EN62209-1 EN62209-2 等
			Annex Ⅳ	NB	△	SDoC		○	○	○	○	
			Annex Ⅴ	NB	×	SDoC		○	○	○	○	
	有線端末機器	R&TTE 指令 必須基準 & 整合化規格	Annex Ⅱ	×	×	SDoC	CE	○	○	○	×	×
	無線端末機器	R&TTE 指令 必須基準 & 整合化規格	Annex Ⅲ	NB	×	SDoC	CE+NB 番号	○	○	○	○	ICNIRP 準拠 EN50360 EN62209-1 EN62209-2 等
			Annex Ⅳ	NB	△	SDoC		○	○	○	○	
			Annex Ⅴ	NB	×	SDoC		○	○	○	○	
干渉防止	非意図的放射機器	EMC 指令 必須基準 & 整合化規格	Annex Ⅱ	×	×	SDoC	CE	○	○	○	×	×
			Annex Ⅲ	NB	×	SDoC	CE	○	○	○	×	×

NB: Notified Body　SDoC: Supplier's Declaration of Conformity

△:Annex Ⅳ では認証は行われないが NB が適合性に関してオピニオンを提出する。

表示:R&TTE CA の Guidance Document on Administrative Requirements (ADCO)を参照する。
SAR:R&TTE 指令の必須基準(健康と安全)のための基準と測定法の選択は製造業者の責任で決める。SAR の整合化規格がある。
モジュール:R&TTE CA の Technical Guidance Note-1 を参照する。



欧州共同体の基準認証制度の実施体制

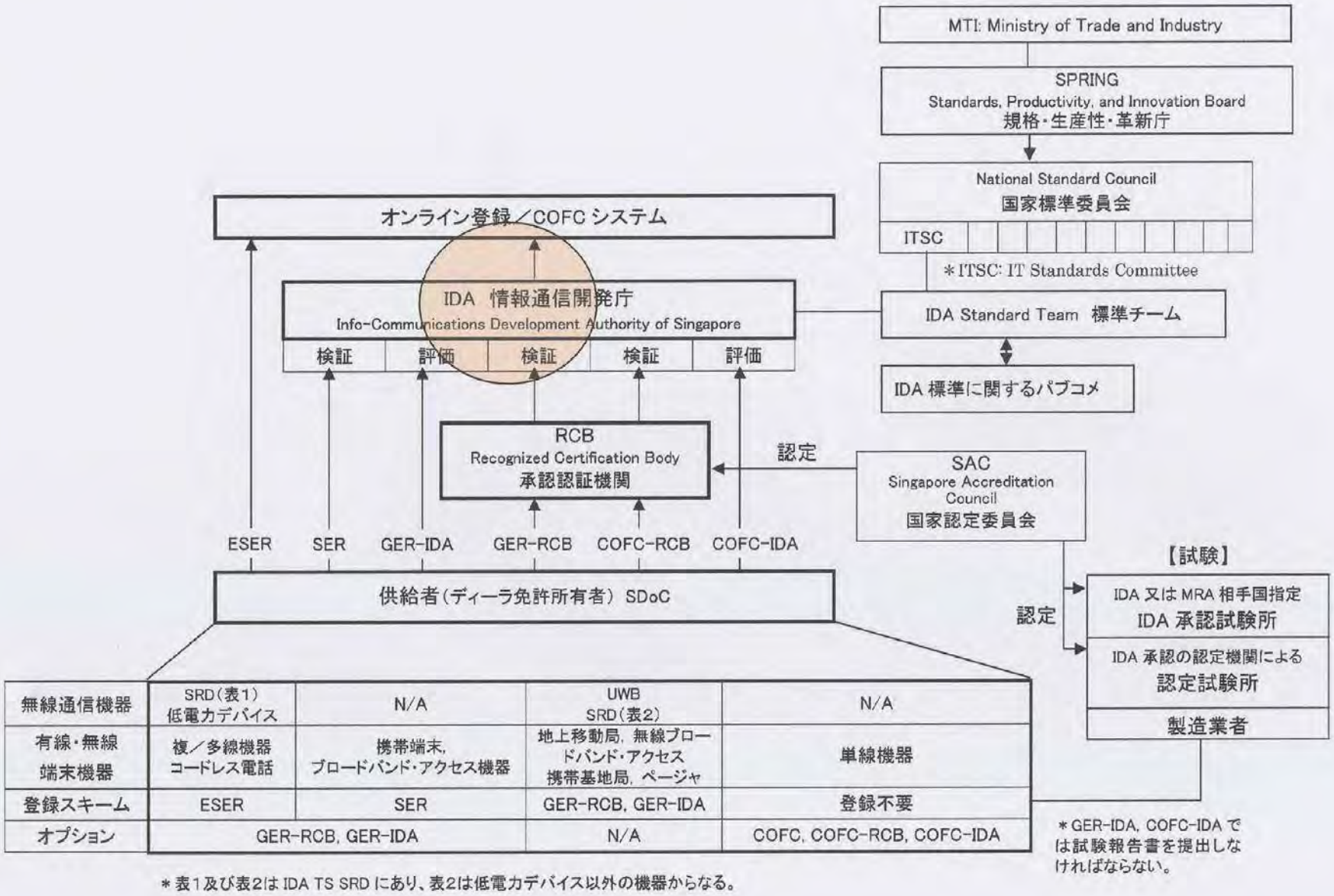
シンガポール共和国の基準認証制度

規制当局(IDA: Info-Communications Development Authority of Singapore)

目的	対象機器	技術基準情報	分類	第三者機関	認証	適合保証	表示	EMC		電気安全規格	EMR	
								EMI	EMS		EMR	SAR
干渉防止等	無線通信機器	電気通信機器登録ガイド	ESER	×	登録	SDoC	Complies with IDA Standards DB123456	○	×	○	×	×
			SER	×	登録	SDoC		○	×	○	×	×
			GER-RCB	RCB	認証/登録	認証		○	×	○	×	×
			GER-IDA	TL, IDA	認証/登録	認証		○	×	○	×	×
回線ハーム防止等	有線端末機器	電気通信機器登録ガイド	ESER	×	登録	SDoC	Complies with IDA Standards DB123456	△	×	○	×	×
			SER	×	登録	SDoC		△	×	○	×	×
			GER-RCB	RCB	認証/登録	認証		△	×	○	×	×
			GER-IDA	TL, IDA	認証/登録	認証		△	×	○	×	×
	有線端末機器(登録除外機器)	電気通信機器登録ガイド	×	×	自己確認	SDoC	なし	△	×	○	×	×
			COFC	×	確認	SDoC	Complies with IDA Standards DB123456	△	×	○	×	×
			COFC-RCB	RCB	認証/確認	認証		△	×	○	×	×
			COFC-IDA	TL, IDA	認証/確認	認証		△	×	○	×	×
	無線端末機器	電気通信機器登録ガイド	ESER	×	登録	SDoC	Complies with IDA Standards DB123456	○	×	○	×	×
			SER	×	登録	SDoC		○	×	○	○	○
			GER-RCB	RCB	認証/登録	認証		○	×	○	○	○
			GER-IDA	TL, IDA	認証/登録	認証		○	×	○	○	○

SER: Simplified Equipment Registration　ESER: Enhanced SER　GER: General Equipment Registration　RCB: Recognized Certification Body
COFC: Confirmation of Conformity　SDoC: Supplier's Declaration of Conformity TL: Testing Laboratory　△は CISPR22 を意味する。

表示:電気通信機器に対するラベルと広告要件通知による。特殊なラベリング(電子ラベリングなど)は IDA に相談する。
SAR:IDA TS CMT (携帯端末) は EN 50360:2001 と EN 50361:2001 を挙げているのみである。
モジュール:基本的にモデル番号ごとに登録を認めているので、モジュールは最終製品又は変更機器として登録する。



無線通信機器	SRD（表1） 低電力デバイス	N/A	UWB SRD（表2）	N/A
有線・無線 端末機器	複／多線機器 コードレス電話	携帯端末, ブロードバンド・アクセス機器	地上移動局, 無線ブロードバンド・アクセス 携帯基地局, ページャ	単線機器
登録スキーム	ESER	SER	GER-RCB, GER-IDA	登録不要
オプション	GER-RCB, GER-IDA		N/A	COFC, COFC-RCB, COFC-IDA

＊表1及び表2は IDA TS SRD にあり、表2は低電力デバイス以外の機器からなる。

シンガポールの基準認証制度の実施体制

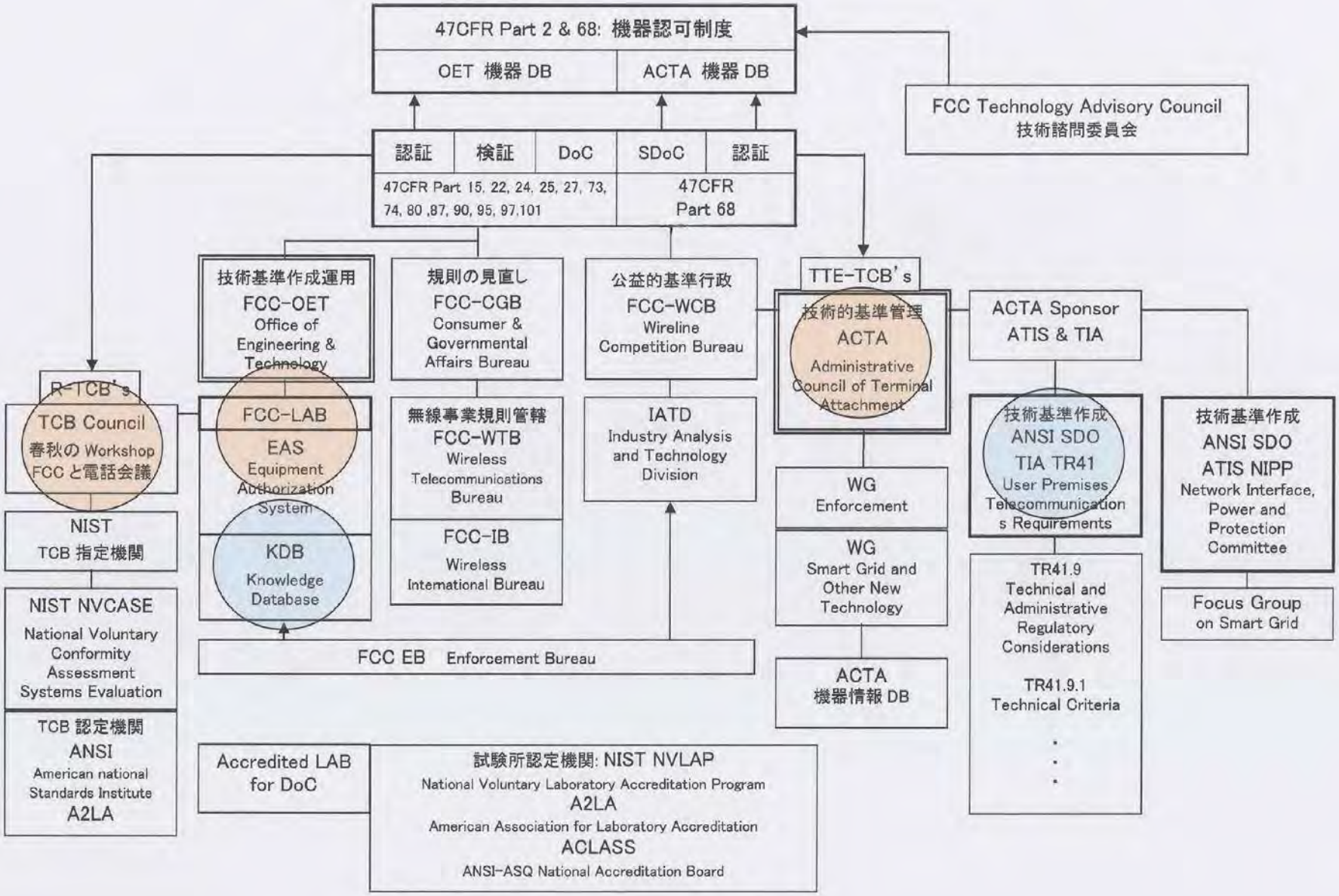
米国の基準認証制度

規制当局(FCC: Federal Communications Commission)

目的	対象機器	技術基準情報	分類	第三者機関	認証	適合保証	表示(基本)	EMC		電気安全規格	EMR	
								EMI	EMS		EMR	SAR
干渉防止等	無線通信機器	Part 2, 15, 18, 73, 74, 80, 87, 90, 95, 97, 101	認証	FCC	○	認証	FCC ID: GC+PC	○	×	△	○	○
			認証	FCC/TCB	○	認証		○	×	△	○	○
			検証	×	×	自己確認	Unique ID Label	○	×	△	○	×
	無線端末機器	Part 2, 15, 22, 24, 25, 27	認証	FCC	○	認証	FCC ID: GC+PC	○	×	△	○	○
			認証	FCC/TCB	○	認証		○	×	△	○	○
(注)	有線端末機器	Part68 ANSI/TIA-968-B ANSI/TIA-1096-A	SDoC/認証	ATL 推奨	×	DoC	US: AAAEQ##TXXX	×	×	△	×	×
				TCB	○	認証		×	×	△	×	×
干渉防止等	非意図的放射機器	Part15 Subpart B	認証	FCC/TCB	○	認証	FCC ID: GC+PC+ST	○	×	△	×	×
			DoC/認証	ATL/TCB	× ×	DoC/認証	FCC Mark+TN+MN FCC ID: GC+PC+ST	○	×	△	×	×
			DoC/認証	ATL/FCC/TCB	× ×	DoC/認証	FCC Mark+TN+MN FCC ID: GC+PC+ST	○	×	△	×	×
			DoC	ATL	×	DoC	FCC Mark+TN+MN	○	×	△	×	×
			検証	×	×	自己確認	Unique ID Label+ST	○	×	△	×	×
	ISM 機器	Part 18	DoC/認証	ATL/FCC	○	DoC/認証	FCC Mark FCC ID: GC+PC+ST	○	×	△	×	×
			検証	×	×	自己確認	Unique ID Label	○	×	△	×	×

TCB: Telecommunications Certification Body　ATL: Accredited Testing Laboratory　ST: Statement　△:規制がある場合があるが FCC の管轄でないことを示す。

表示:無線通信機器の表示は Part 2.925、通信端末機器の表示は TIA/TSB-168-A に定める。KDB784748 に電子ラベリングのガイドがある。
SAR:Part 2.1093 に携帯デバイス(20cm 未満)の SAR に関する規定がある。測定法は KDB 文書を参照する。
モジュール:モジュールの認可については、Part 15.212 に規定があり KDB996369 にガイド文書がある。
その他:特別な手続として Permit-But-Ask がある。詳細は KDB388624 を参照する。



米国の基準認証制度の実施体制

ご静聴ありがとうございました。